

令和4年度活動報告

松原悦子

今年度は多少の規模縮小はあってもコロナ前の事業がほぼ出来ました。

【活性化事業】

○今年度は二部小学校6年生提案の、休耕田を花でいっぱいにする「フラワーパーク」事業を、ファンクラブ部会で担当して草刈りや耕運を実施し、小学生がひまわりの種を蒔き草取りなどの管理で、通行量の多い道路からよく見えるひまわり畑と【幸せを呼ぶフラワーパーク】と表示した看板設置で沿道にアピール出来ました。3月初旬には菜の花の種が蒔かれ開花が楽しみなところです。畑のすぐ側に秋のハロウィンイベントで使用したジャンボ南瓜を飾ったところ、ひまわりの花に続き車を止めて写真を撮るドライバーの姿が見られ賑わいました。

また、事業として住みよい環境部会では、地域の80才以上のお一人で生活されている方に年二回の友愛訪問として、お弁当の配布やクリスマスプレゼントの実施を行い喜んで頂き私たちが元気を頂いた気持ちです。

恒例の盆花販売や、ふるさと小包便も好評の内に終わることが出来ました。

この他、春と秋に実施の一斉清掃、挿し芽作業から取り組み見事な花を咲かせた菊花展、歴史ある出雲街道を整備する事業などに沢山の参加を頂きました。それぞれの部会の活動も活発になって来ています。

幸せを呼ぶフラワーパーク事業



おもてなし弁当



【公民館事業】

○今年度の特筆すべき事は、3年ぶりに公民館まつりが開催出来た事です。地域の多くの皆さんの協力によって沢山の作品展示や、令和5年に創立150周年を迎える二部小学校の歴史をたどる特別展示は、「学びの夜明け 寺子屋から」と題し一年懸りで取り組み、立派な作品となりました。メディア媒体の取材を沢山受けましたので、ご覧いただいた方から連絡を受けたと地域の方に声を掛けて頂きました。

高齢者学級、女性学級の行事にも沢山の参加を頂き、改めて顔を合わせ会話の出来る有難さを感じました。

たたらまつり特別展の様子



この他、集落点検として実施している、「空き家状況」及び「買い物困難者」に関するアンケート調査も3年目となりました。

アンケート結果を集計してみると、少子高齢化の流れがますます顕著に感じられます。住み続けられる地域の継続に、取り組める事は何かを考え行動します。